

中小企業景況調査報告書

令和2年7～9月期 実績
令和2年10～12月期 予測



令和2年11月
広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

- | | |
|---------|---|
| 1. 調査趣旨 | この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。 |
| 2. 調査対象 | (対象地区) 県内15商工会
祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安古市町、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、三次広域、備北
(対象企業) 225社
製造業47 建設業43 小売業67 サービス業68 |
| 3. 調査方法 | 経営指導員による訪問面接調査 |
| 4. 調査期間 | 令和2年7月～9月期実績、及び令和2年10月～12月期の見通し |
| 5. 調査時点 | 令和2年11月15日 |

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、
 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■ (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

<http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/keikyo/>

■ 中国財務局 (中国地方の経済情勢)

<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizaijyousei/jouseishinchaku.html>

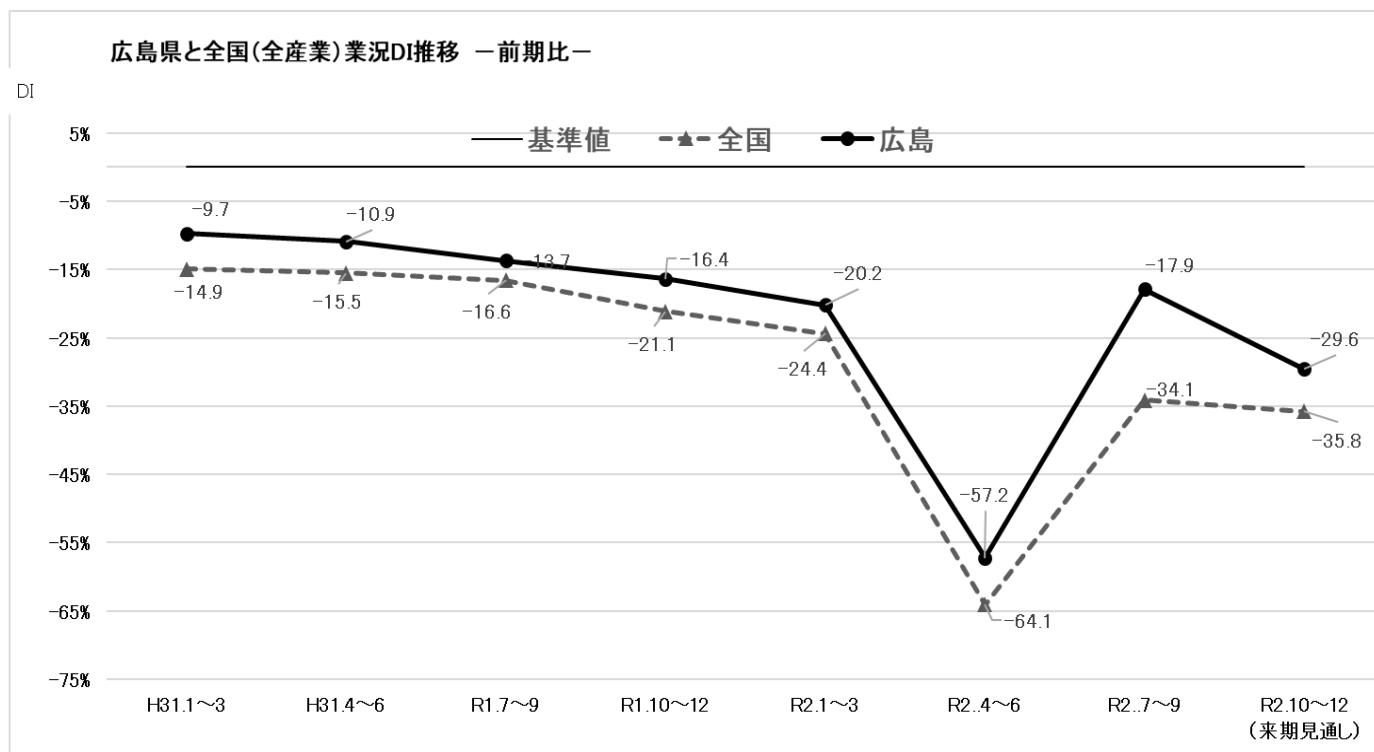
■ 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

産業全体の概況

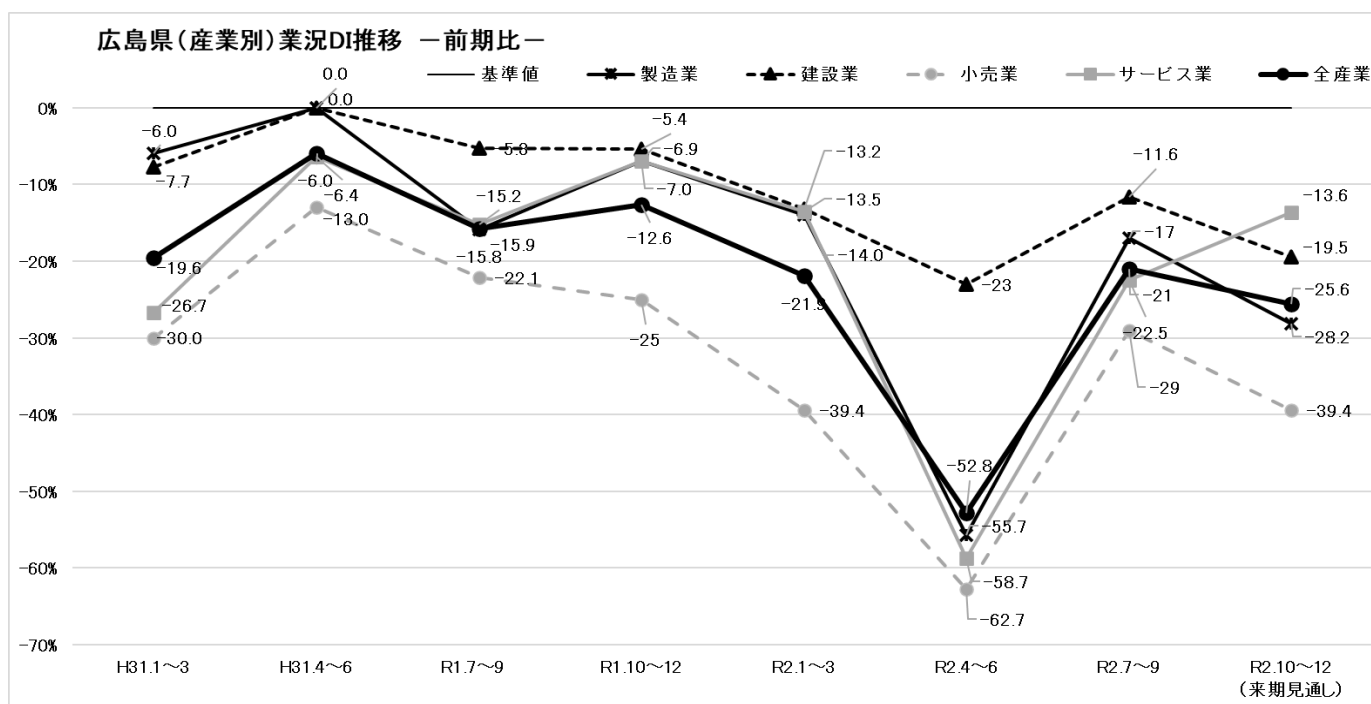
1. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県全産業の今期業況DIは、前期-57.2から-17.9(前期差39.3ポイント)、全国DIでは前期-64.1から-34.1(前期差30.0ポイント)と、過去最大の下げ幅となった前期から一転して持ち直しの動きに。



2. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県産業別では、全業種で上げ幅が拡大。上げ幅の大きい順に「製造業」「サービス業」「小売業」「建設業」となった。来期は、サービス業のみ上昇見通しで、コロナショック以前の水準まで回復見込み。



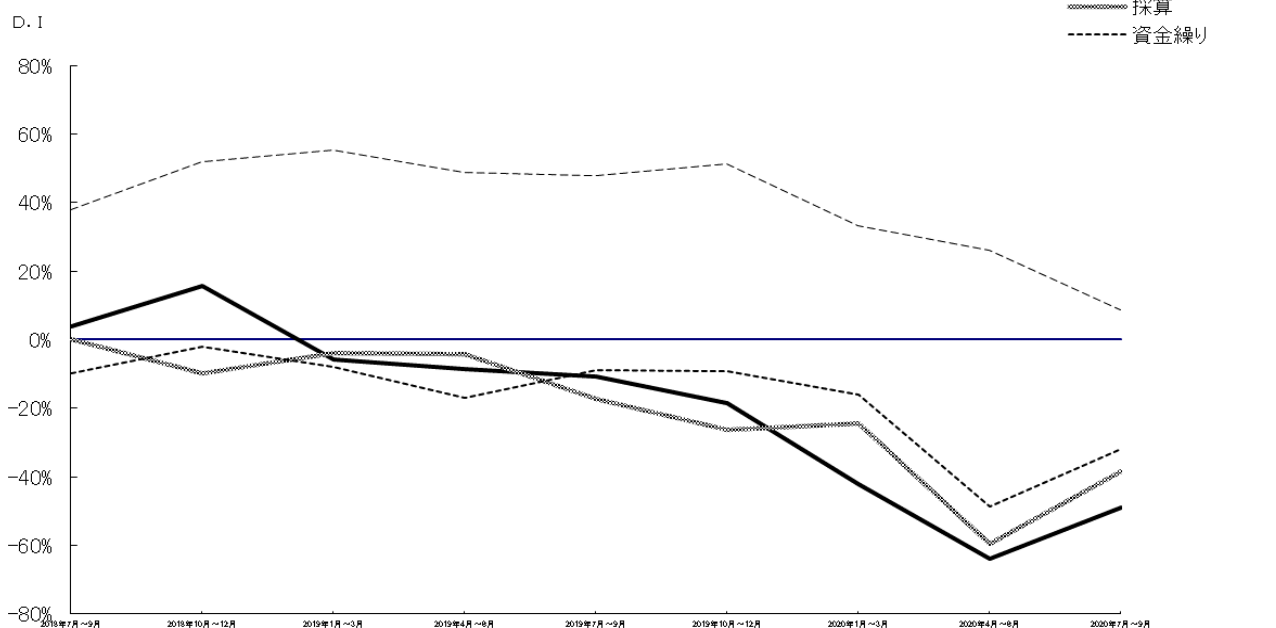
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

製造業 DI	(前期)	(今期)	(来期見通し)
主要項目	R2.4～6	R2.7～9	R2.10～12
売上額	-63.9	-49.0	-51.0
原材料仕入単価	26.1	8.7	17.4
採算	-59.5	-38.3	-36.2
資金繰り	-48.8	-31.9	-31.9

広島 製造業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



企業のコメント

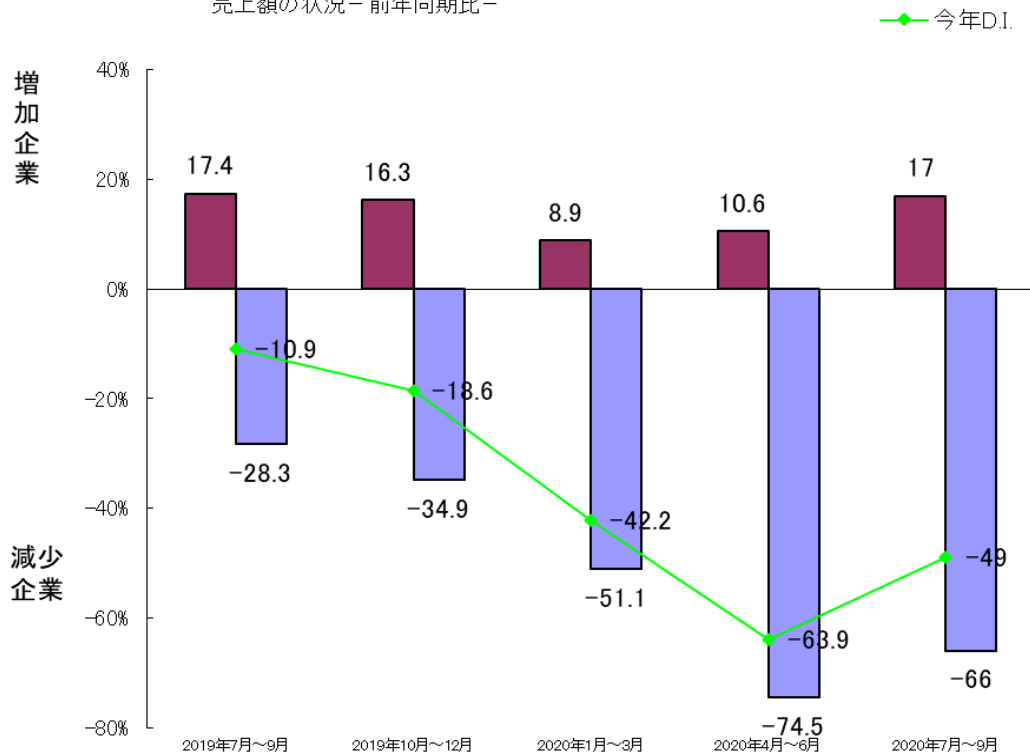
- 新型コロナウイルスの拡大により取引先からの受注が半減している中、生産調整も長期的になっている状況下で先行き不透明な状態が長引き、当分続くと思われ大変不安感になってきています。（製糸業、紡績業、化学繊維・ねん糸等製造業）
- コロナ対策融資による長めの据置期間を活用し、当面の資金繰りは凌いでいるが、年内の受注量回復の見込みは立たず、先行きが不安で仕方ない。（鉄素形材製造業）
- 需要の減少により従業員への支払いが難しくなっているのか、他市からのチラシが以前に比べ多くなっていると思う。価格が安いのが良い訳なのに、売上量だけに拘ると手振きの仕事が多くなるのでは、と思う。（その他の家具・装備品製造業）
- コロナ禍によって景気が悪化し、戻りつつあるが、大手スーパーの閉店も目立ち、受注が減っている。また外出自粛に伴い、お土産等の需要が遠のいている様に思う。（パン・菓子製造業）
- 既存の取引先からの受注が伸びている。特に通販向けの商品である。更に寝具製作以外のマスク、医療用ガウンなどの製造依頼も新規に受注し、売上を拡大している。（寝具製造業）

製造業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島 製造業

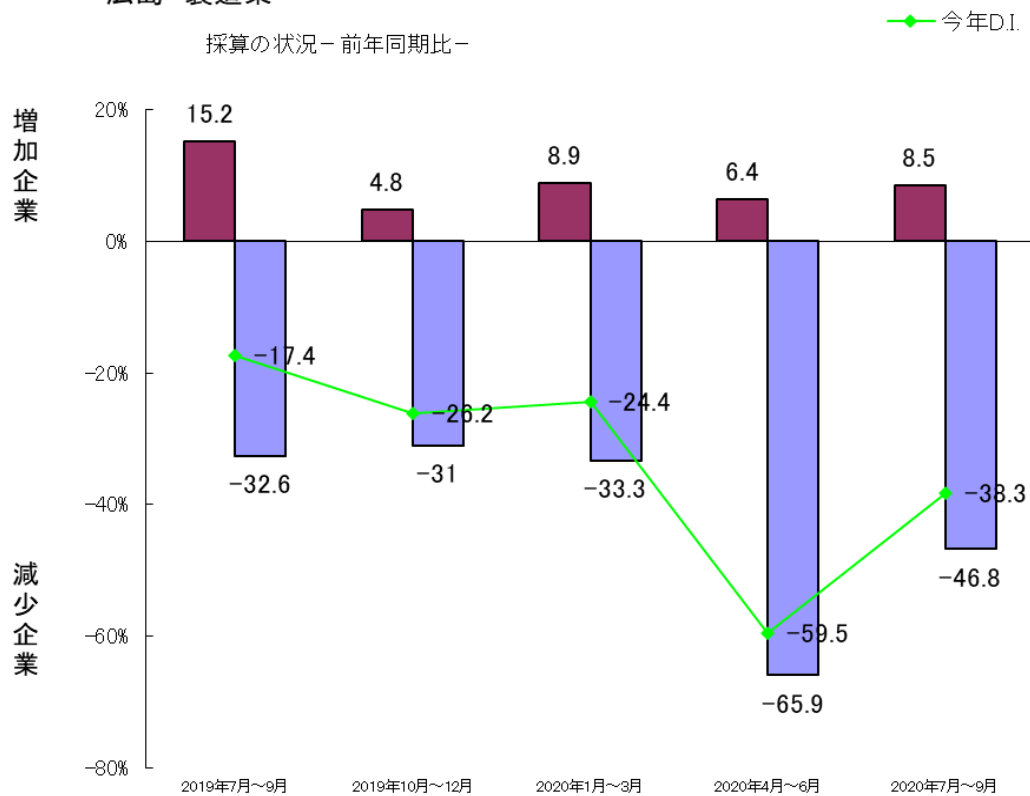
売上額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

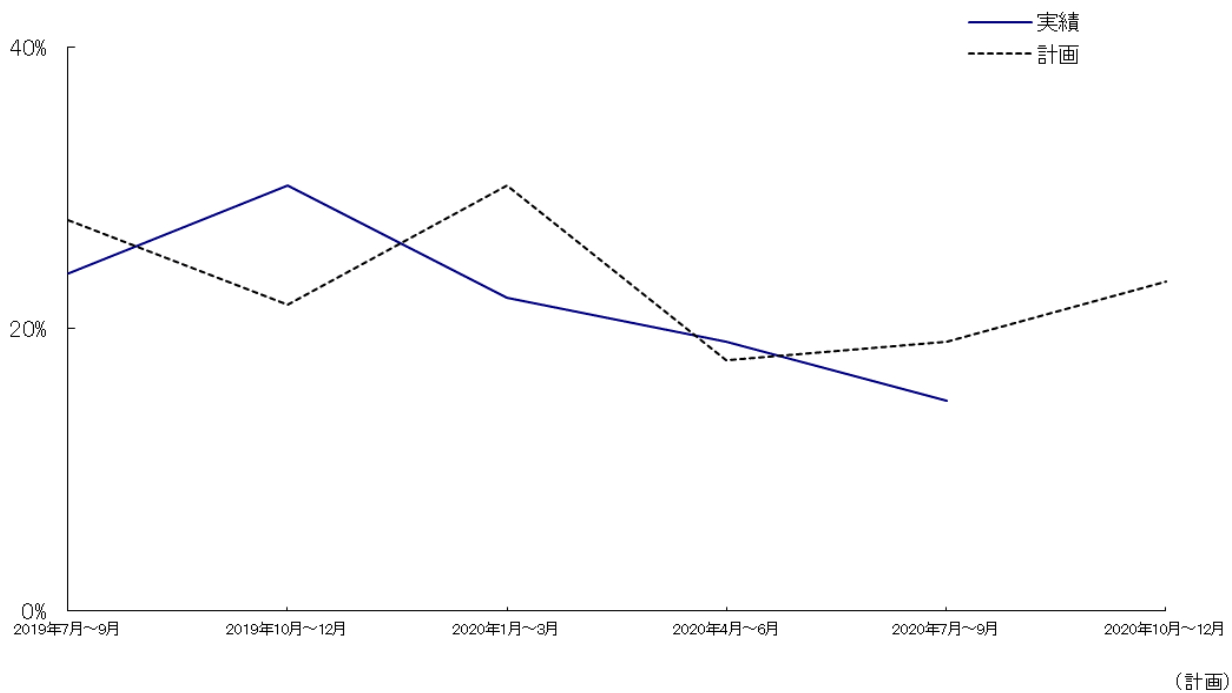
広島 製造業

採算の状況-前年同期比-



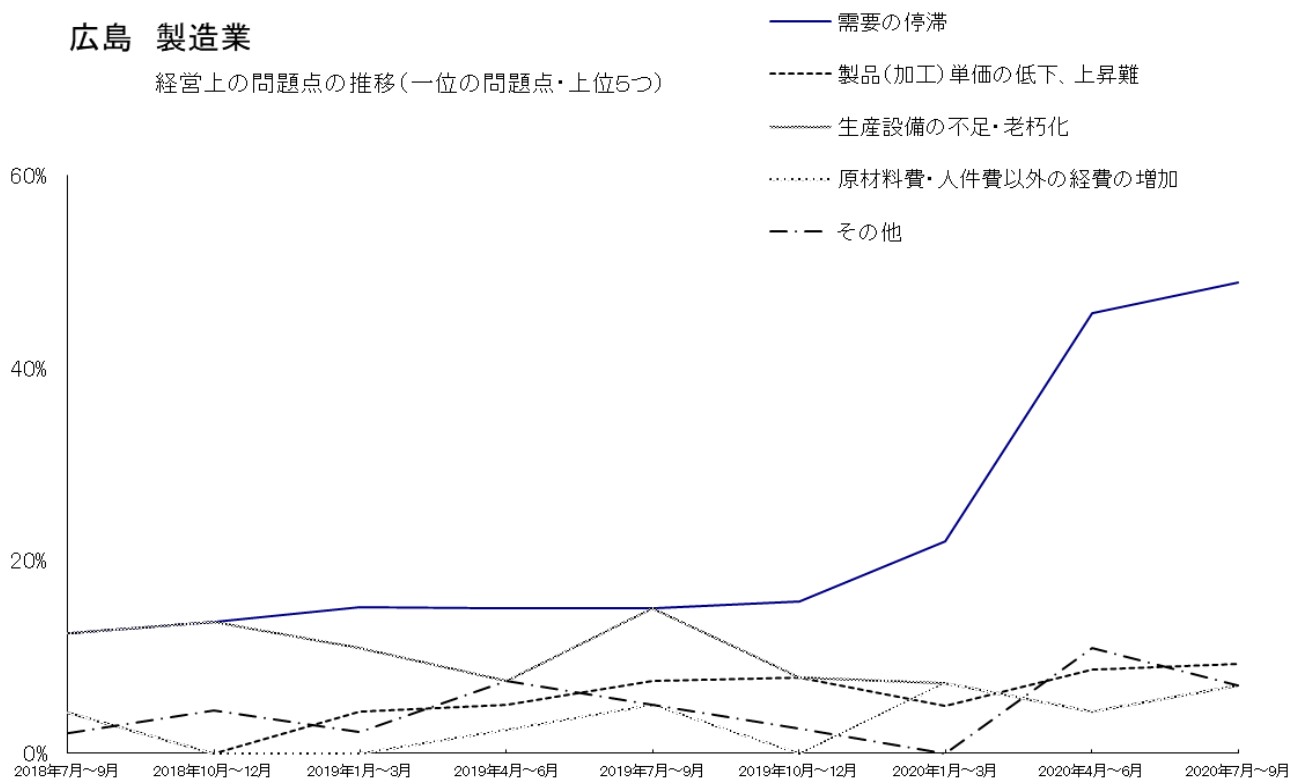
4.設備投資の状況

広島 製造業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 製造業
経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つ）



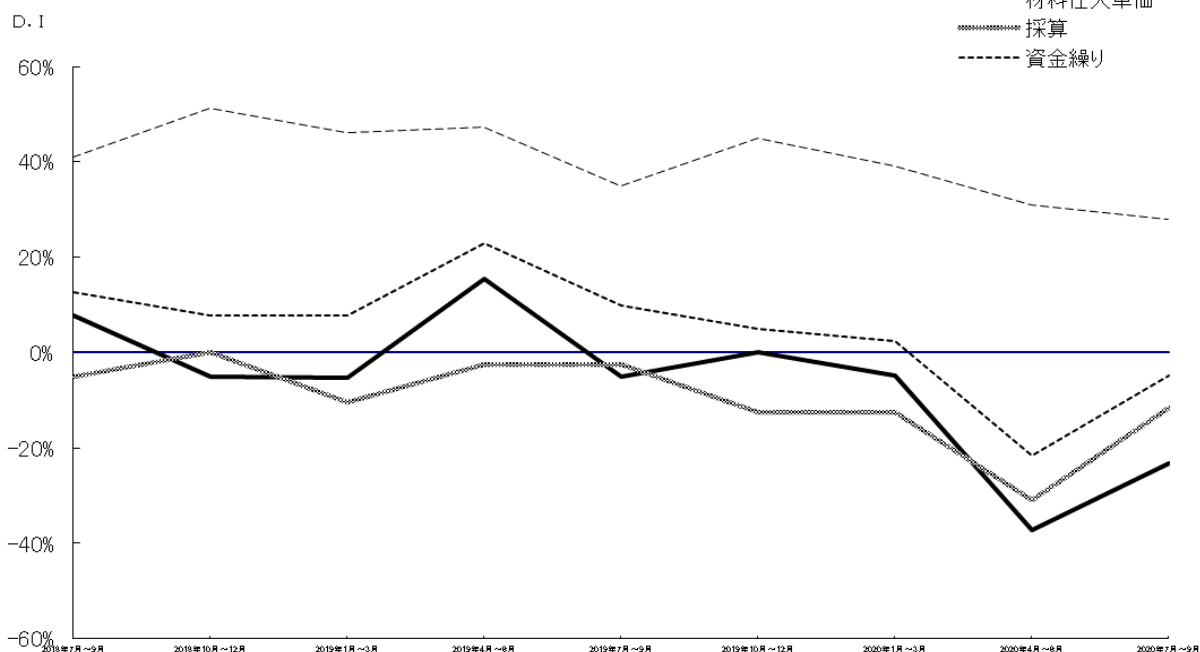
建設業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI		（前期）		（今期）		（来期見通し）	
主要項目		R2.4～6	R2.7～9	前期との比較	R2.10～12	今期との比較	
売上額 （完成工事額）		-37.2	-23.2	↗	-34.9	↘	
材料仕入単価		30.9	27.9	↘	7.0	↘	
採算		-31.0	-11.6	↗	-20.9	↘	
資金繰り		-21.5	-4.7	↗	-13.9	↘	

広島 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

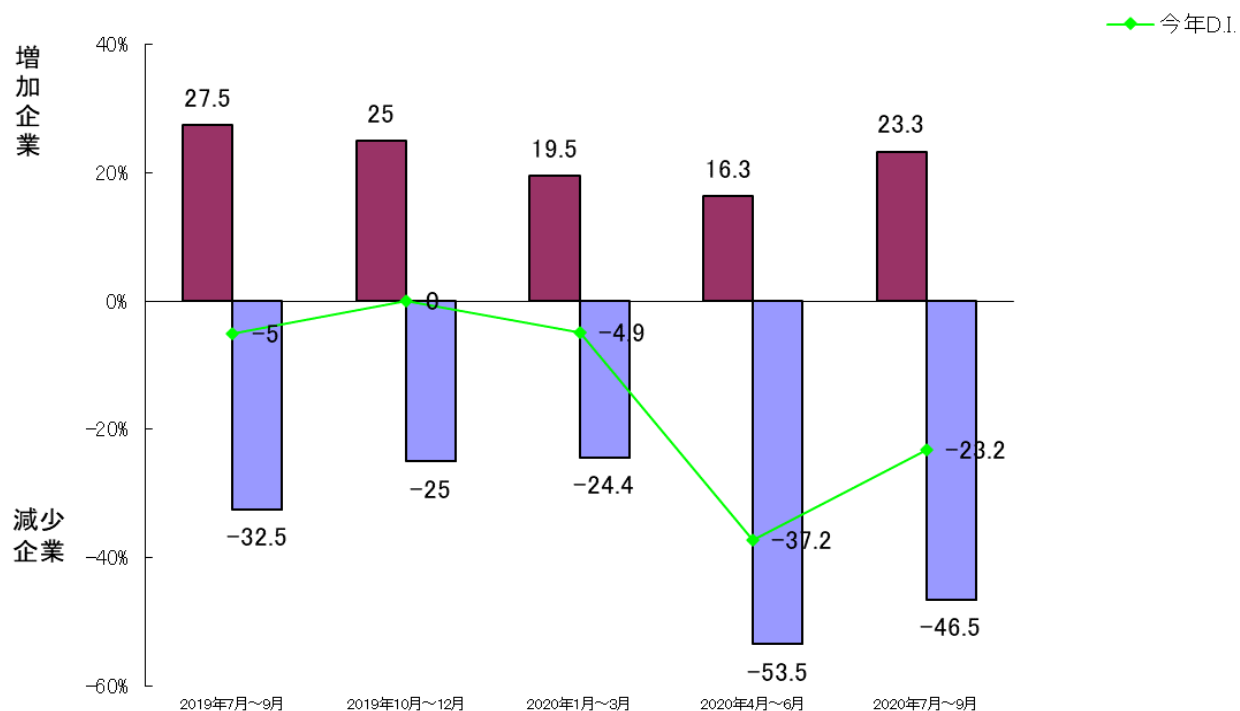
- ・ コロナの影響により材料入荷の遅れが生じ、一時期お客様に待っていただき迷惑をかけた。今年度、資金繰りが難しく、店主からの持ち出しが多かった。（大工工事業）
- ・ 官・民工事の需要が減少している。特に官工事は災害復旧工事以外殆ど需要がない。（一般土木建築工事業）
- ・ 当社の仕事内容は、大体修理なので景気に左右されないの、業況は開業から変わってないです。（給排水・衛生設備工事業）
- ・ 受注はあるが、人材不足や下請け業者の確保が難しいので不安である。（一般土木建設工事業）
- ・ 利益率が高い仕事が取れるよう努力しなければいけませんが、やはりコロナがどうなるのか分からないのと、まだ影響があるので現状維持です。先の見えない不安があります。（内装工事）

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島 建設業

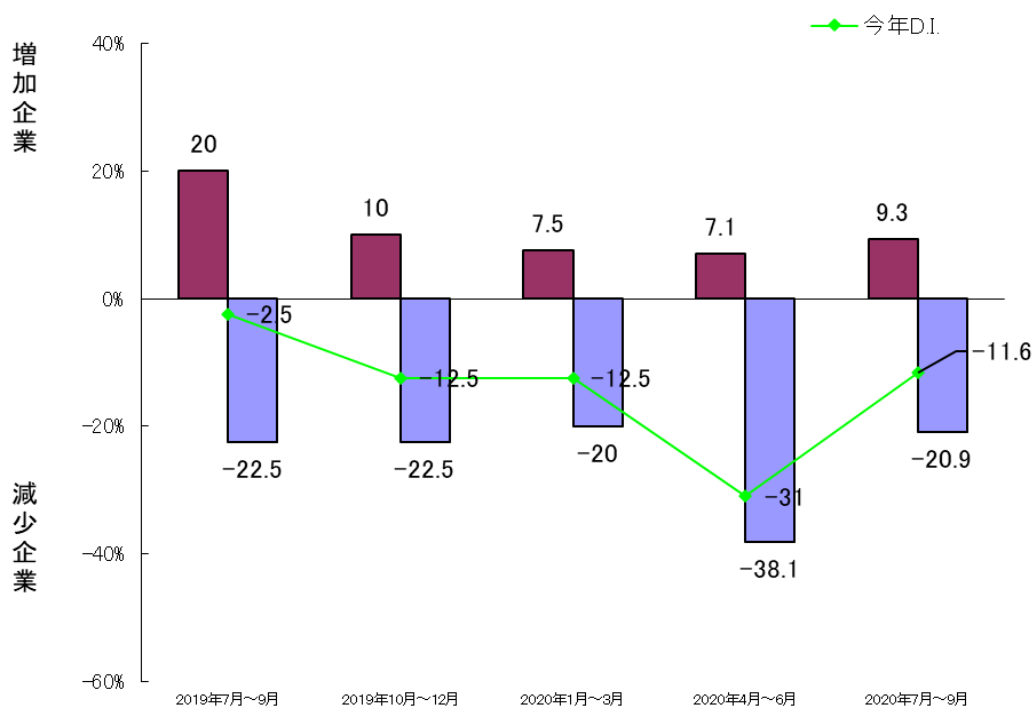
完成工事額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

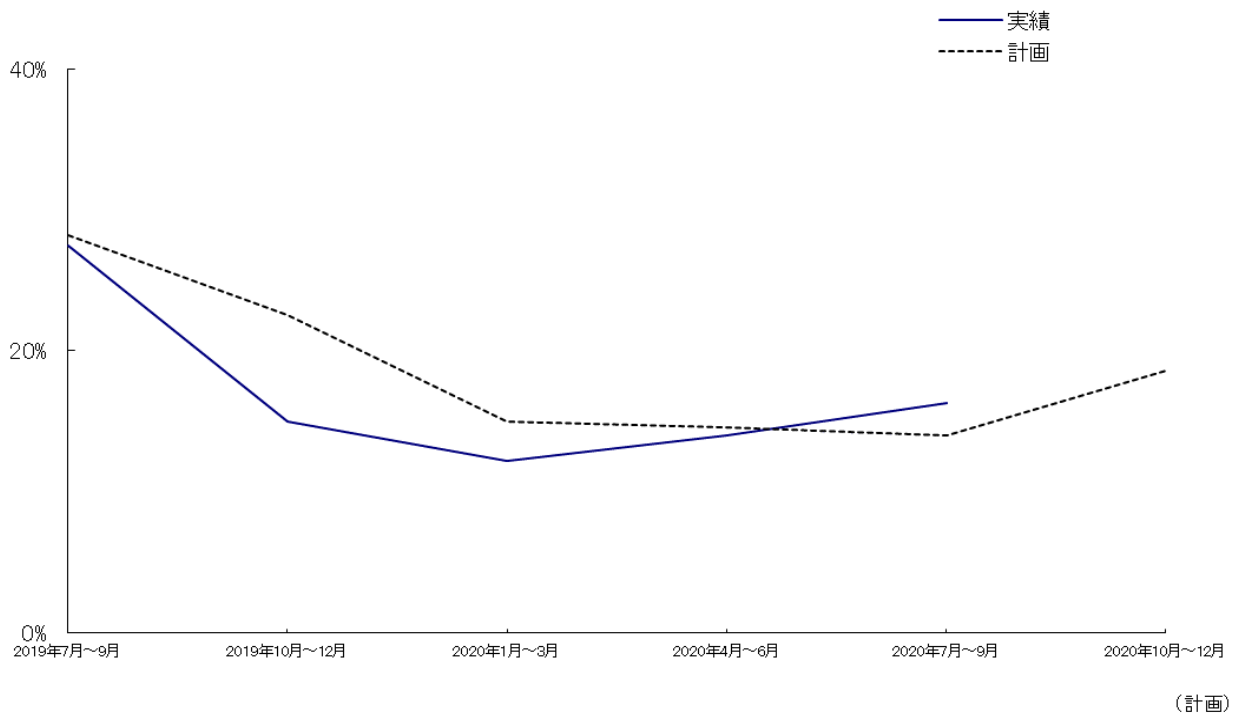
広島 建設業

採算の状況 - 前年同期比 -



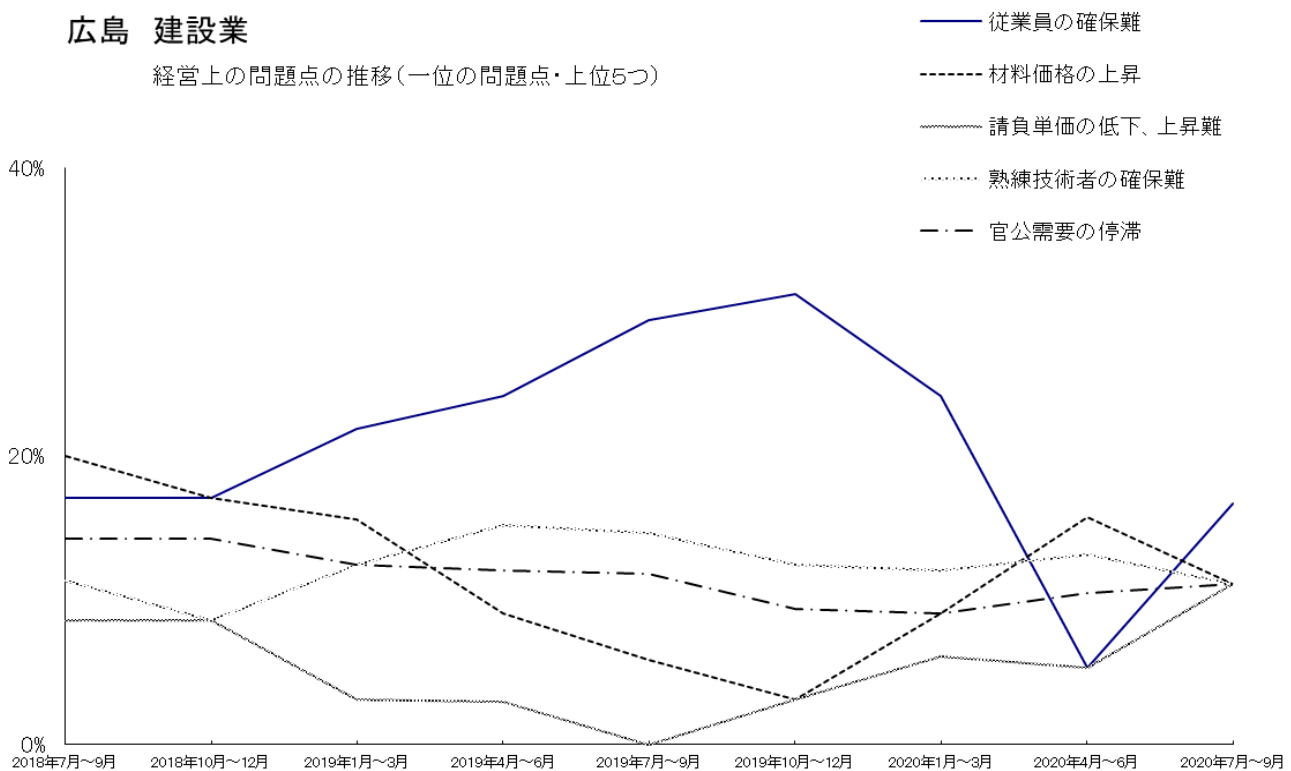
4.設備投資の状況

広島 建設業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 建設業
経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つ）



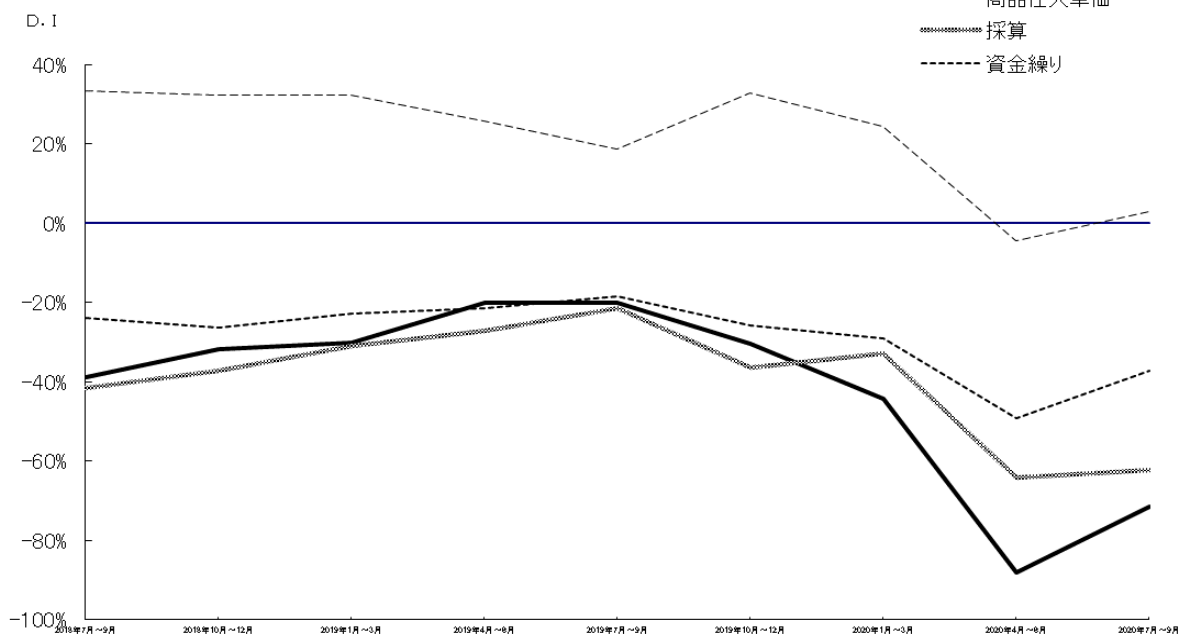
小 売 業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI	（前期）	（今期）	（来期見通し）
主要項目	R2.4～6	R2.7～9	R2.10～12
売 上 額	-88.0	-71.6	-67.1
商品仕入単価	-56.6	-47.0	-47.0
採 算	-64.1	-62.2	-56.0
資 金 繰 り	-49.2	-37.3	-34.3

広島 小売業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

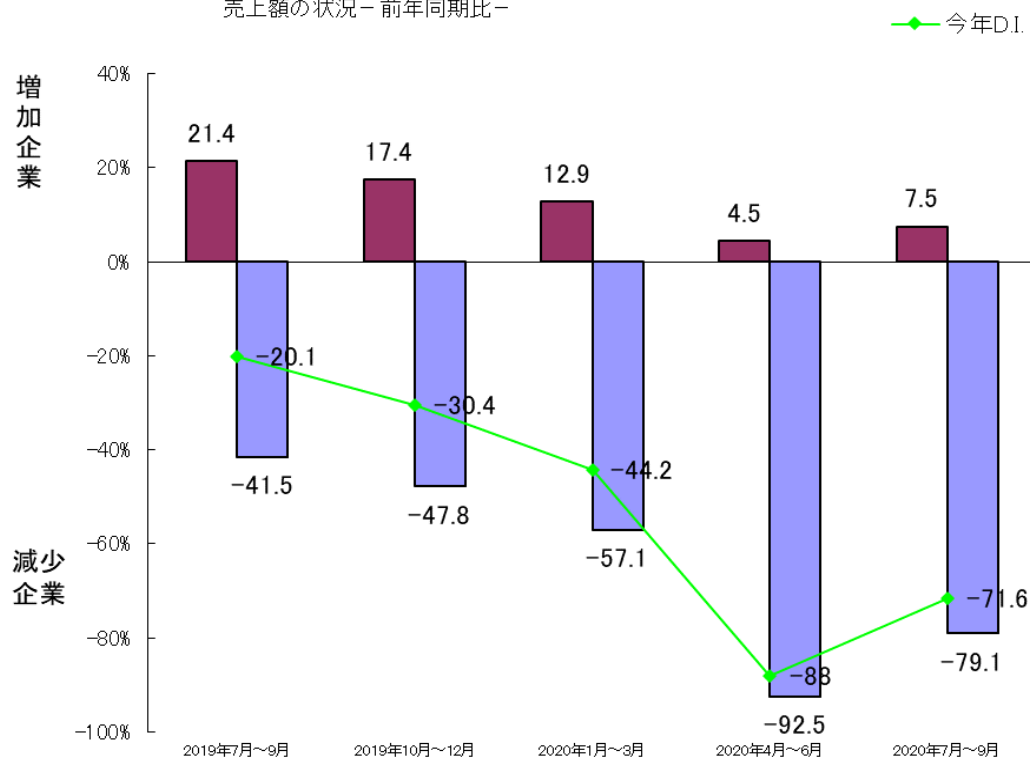
- ・ コロナ以降、業態転換する会社が増加する予測。テイクアウト、デリバリー事業の新規参入により、自社のライバルが増え、売上が減少する可能性がある。（ケーキ・パン小売業）
- ・ 新型コロナウイルスの影響は大きくなるばかり。特に年間行事が全てなくなったり、帰省の中止などで、大幅な売上減となっている。コロナ終息までは続くと思われる。（書籍・文房具小売業）
- ・ 脱炭素化に向けて、今後のエネルギー需要動向を注視し、業態変換など柔軟な対応が必要となってくる。また、個々のニーズへの柔軟かつ迅速な対応も必要になってきている。効率化など経費とのバランスも必要。（燃料小売業）
- ・ 7月は長梅雨の影響があり、客足が伸びなかった。コロナの影響も多少あったと感じる。8月は猛暑続きで夏物の需要があった。しかしながら、日中は人の往来もあまり見られなかった。秋物の販売も遅れるであろう。（婦人・子供服小売業）
- ・ コロナウイルスの影響で、3月4月は売上が大幅に下がった。5月から市のサポートを受けて宅配弁当に力を入れ、SNSでの発信、ニュースレターの配布。これを機に来客数は増加。しかし、仕出しの需要は未だに回らず。（鮮魚小売業）

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島 小売業

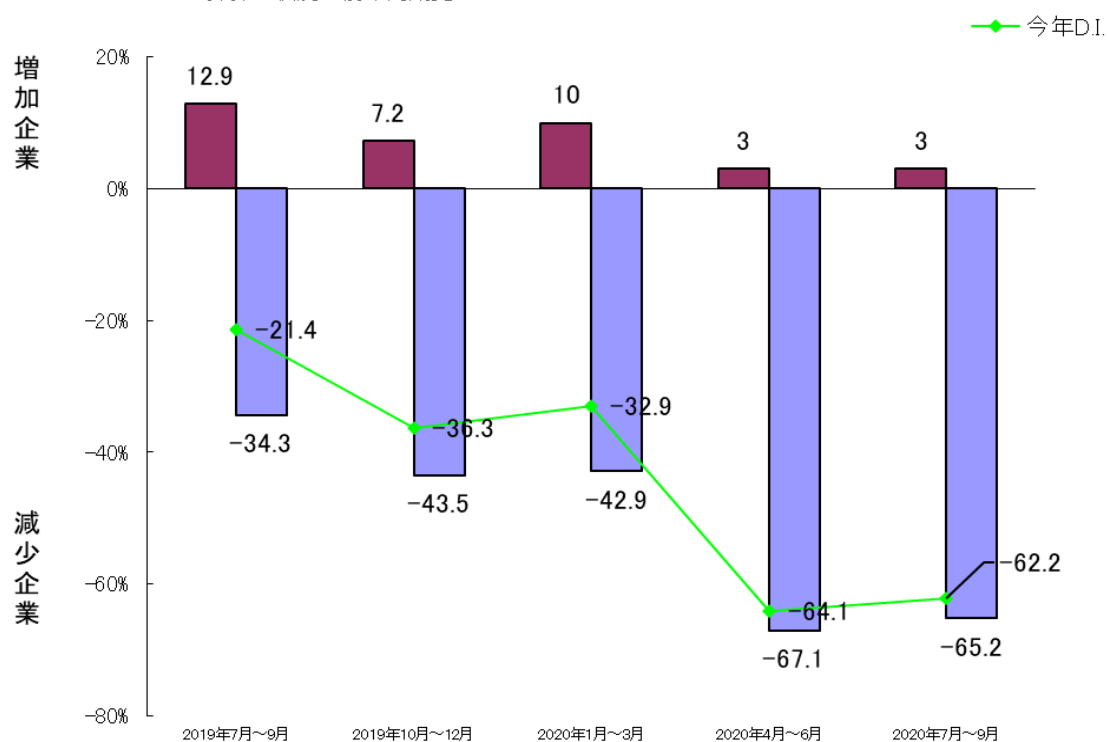
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -

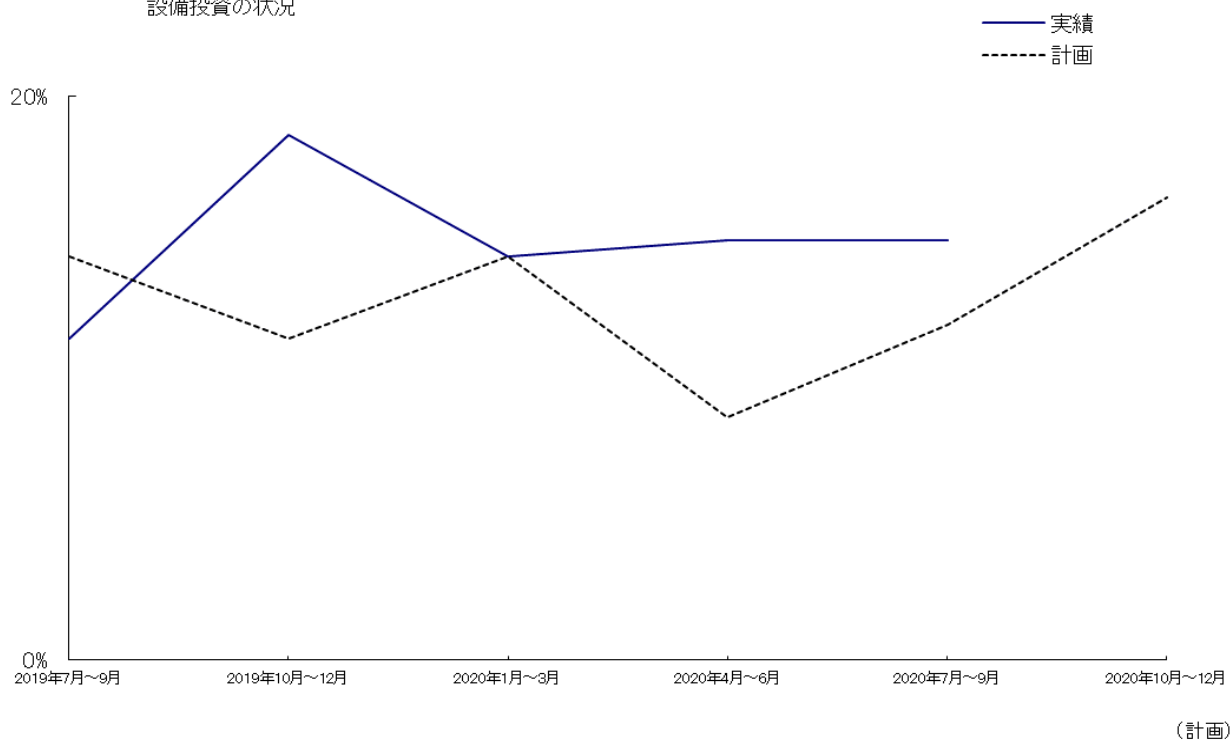


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況

広島 小売業

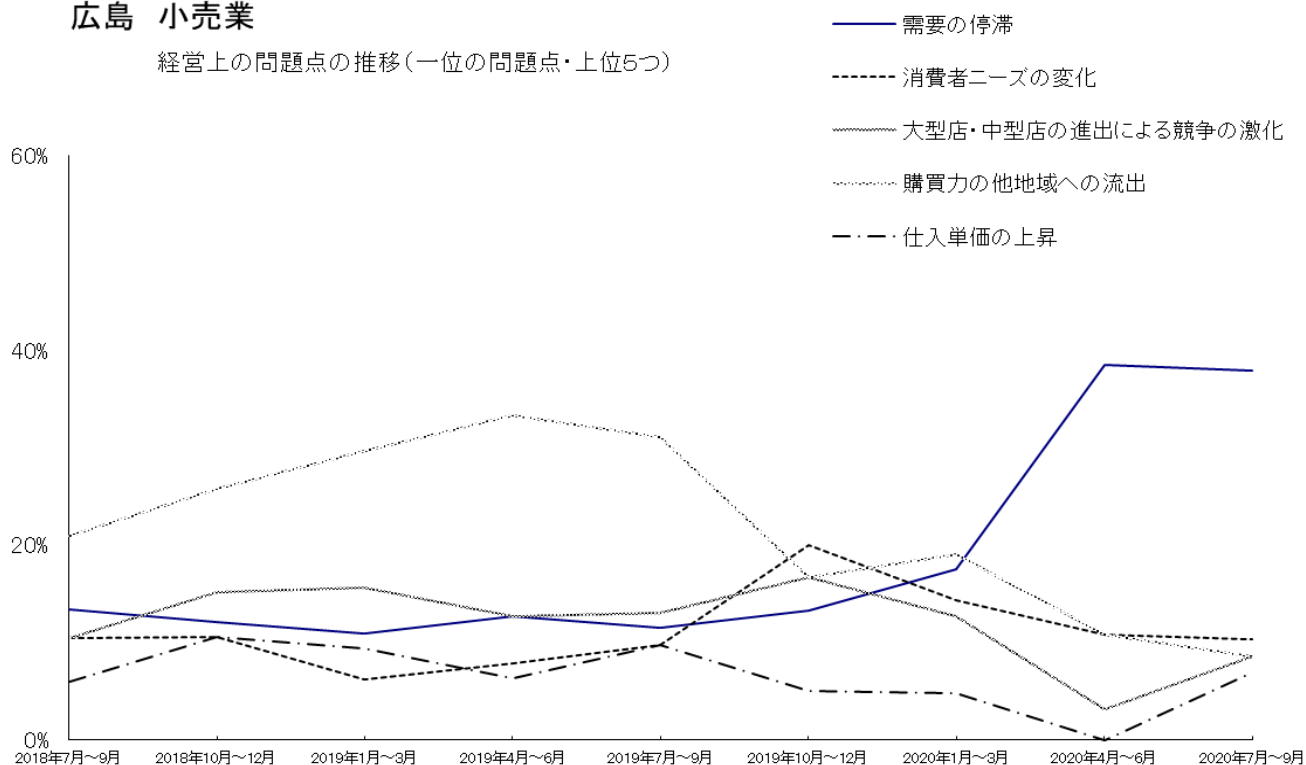
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 小売業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



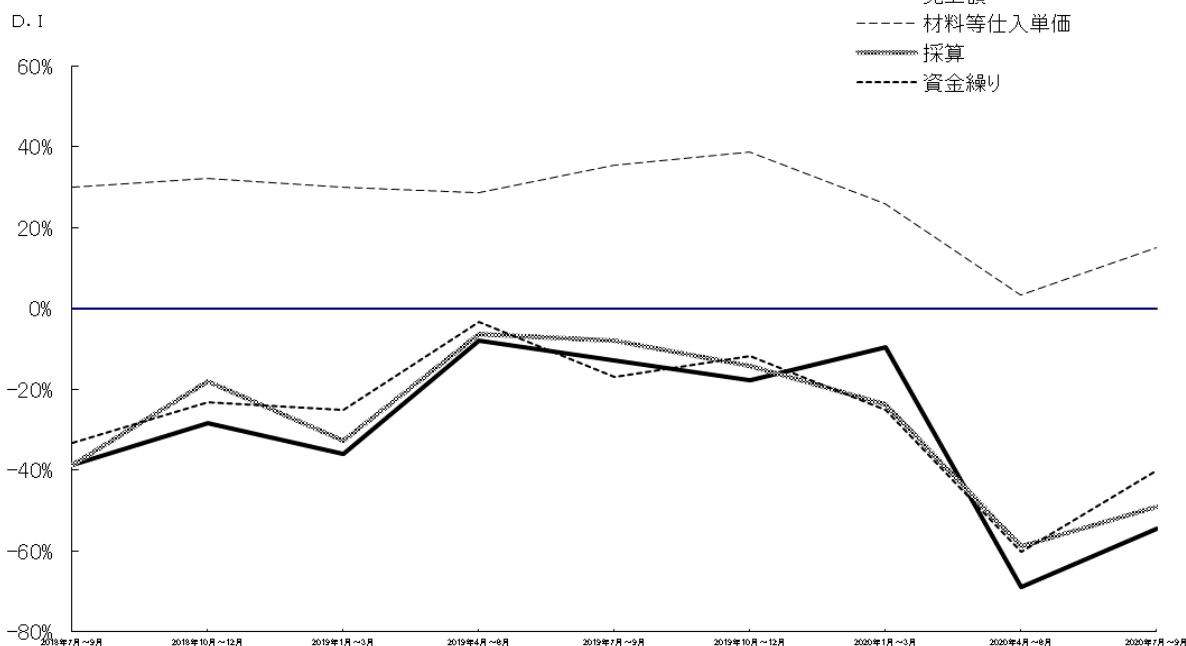
サービス業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R2.4～6	R2.7～9	前期との比較	R2.10～12	今期との比較
売上額		-68.8	-54.5	↗	-47.7	↗
材料等仕入単価		3.2	15.0	↗	10.3	↘
採算		-58.8	-49.2	↗	-41.2	↗
資金繰り		-60.3	-40.0	↗	-33.9	↗

広島 サービス業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

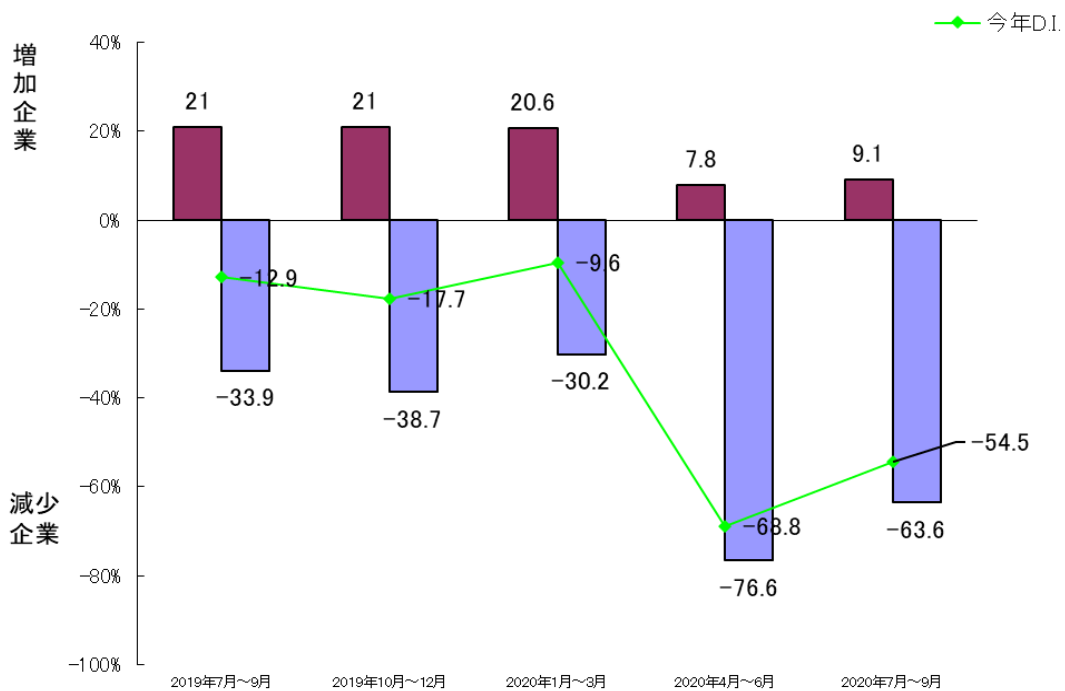
- ・ コロナ対策の政策のお陰で、不安なく事業運営出来ている。販売営業員を雇い入れたので販売力が向上して売上増加に繋がっている。（自動車整備業）
- ・ コロナ感染拡大防止の対策のため、利用者数は縮減。一方で、消耗品購入、人手の増加による経費増で収益環境が厳しい。（旅館、ホテル）
- ・ 今春から続くコロナの影響で、先の見通しはつかない。現状はGO TO キャンペーンに期待したものの、貸切バスは未だ予約がない。秋になり旅行シーズンに入るが、コロナ次第で不安定な業況のまま。（一般乗用旅客自動車運送業）
- ・ 7月は回復したように思えたのですが、8月に入り、またコロナの影響でキャンセルが相次ぎ、去年に比べてかなり売上が落ち込みました。今はプレミアム券で来店されるお客様が徐々に増えてきています。（食堂、レストラン（専門料理店を除く））
- ・ ここ数年間一貫してベテラン乗組員が不足している。若年乗組員は小型船での勤務が難しく、どうしても50歳以上の乗組員に頼る状況が続いており、当分の間苦しい状況が予想される。（沿海海運業）

サービス業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-

広島 サービス業

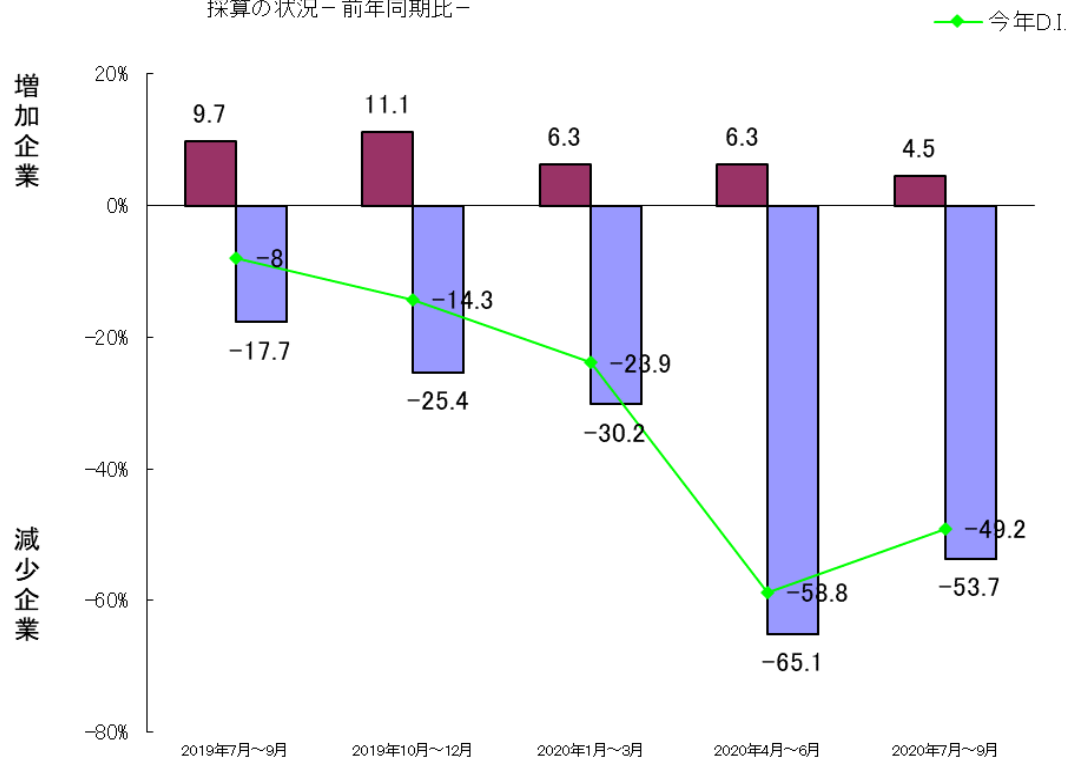
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

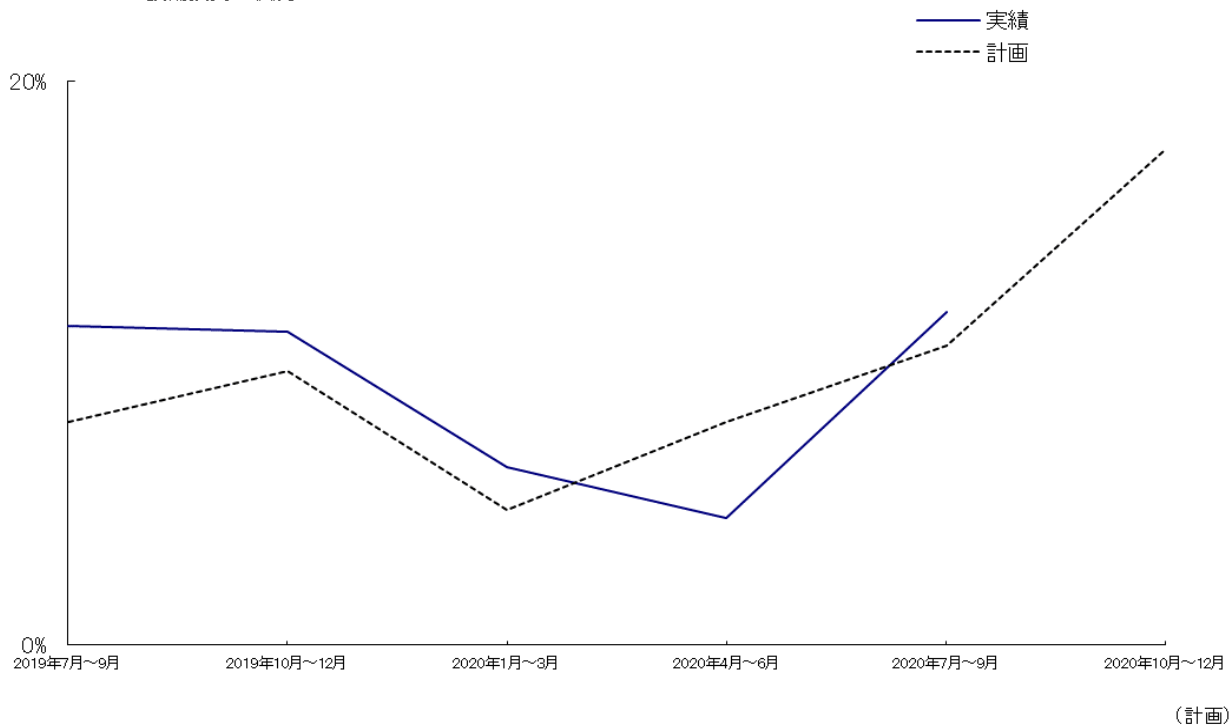
広島 サービス業

採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 サービス業

経営上の問題点の推移（一位の問題点・上位5つ）

